令和４年４月８日発行

名城公園遺跡発掘調査通信

第２号　遺跡の全景撮影を行いました

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
前田建設工業株式会社

名城公園遺跡での発掘調査は、調査区の南端から開始して、はや２か月が過ぎました。３月25日には第１回目のラジコンヘリによる全景撮影を行いました。今回は、江戸時代の下御深井御庭（したおふけおにわ）関連の遺構（溝や池）を中心とする調査区南部の遺構面を主な撮影対象としています。池の遺構からは瓦（かわら）や石灯籠（いしどうろう）といった庭園に使われたとみられる遺物や、庭の一角にあったと考えられている御深井焼（おふけやき）の窯道具（匣鉢（さや）・輪（わ）ドチなど）が出土しています。またそれとともに御深井焼と思われる陶器類も出土しており、下御深井御庭の実態が少しずつわかってきました。

写真１　北からみた遺跡全景（左端の大津通が、名古屋城のある熱田台地へ上る様子がわかります）

写真２　御深井焼関連の遺物出土状況（21Ba区）

写真３　21Aa区の池状遺構の石灯籠出土状況

※『名城公園遺跡発掘調査通信』は、愛知県埋蔵文化財センターのホームページ（http://www.maibun.com）からPDF版をダウンロードすることができます。